

# 嵐電新聞

「嵐電」は「京福電気鉄道」の通称。1910(明治43年)3月25日に開業し、現在も京都で唯一の路面電車区間を走る鉄道として活躍している。

車両の種類が豊富。2022(令和4)年8月現在

山嵐電にはいろいろな色や絵柄の車両がある。次に来る車両を予想して楽しむこともできる。

**京紫色**  
2010(平成22)年嵐電100周年を記念して塗装された。現在も活躍している。京紫色の登場により、現在も活躍している。

**レトロ号**  
1974(平成6)年に平安京1100年を記念して登場。外装だけでなく内装もレトロ調。

**旧塗装**  
ベージュと緑のツートンカラーの車両。京紫色の登場により、現在も活躍している。

こんなところを走行している  
下記路線図を参照

## 路面電車区間



京都で最後に残った路面電車。車窓で並走する光景を見ることが出来る。

## 盛り土区間

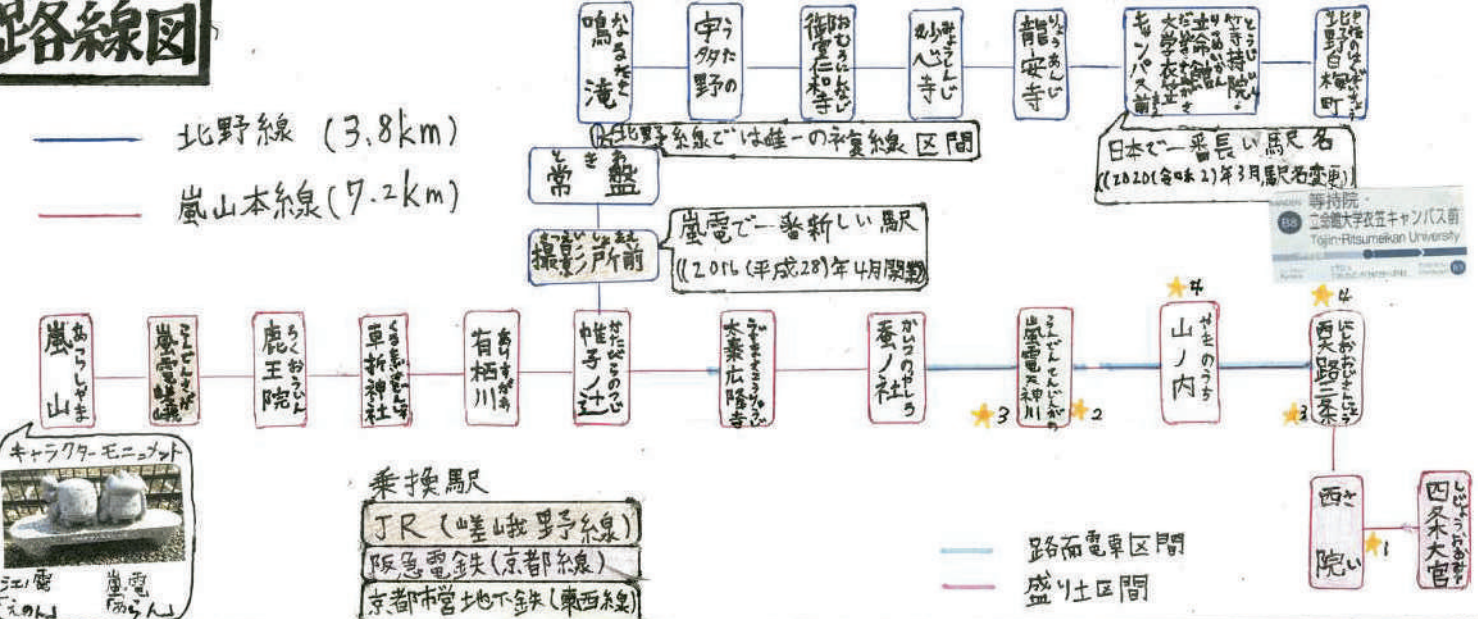


JRが高架化されるまで嵐電がJRの上を走行していた名残として盛り土区間を走行している。

<b>もり号</b> 60周年記念塗装 2022(令和4)年8月現在	<b>しまじろう号</b> 2022(令和4)年8月現在	<b>タ子号</b> 2019(平成31)年登場 2022(令和4)年8月現在	<b>江ノ電号</b> 2019(平成31)年登場 2022(令和4)年8月現在
--	---------------------------------	---	--

## 路線図

北野線 (3.8km)  
嵐山本線 (7.2km)



乗換駅  
JR(嵯峨野線)  
阪急電鉄(京都線)  
京都市営地下鉄(東西線)

**編集後記**  
自宅の近くを走っている嵐電を見かける機会が多く、車両の絵柄の多さに興味を持ち調べました。調べていくうちに今まで知らなかったミカが発見でき、より親しみを持ったことができました。

**映画化された**  
2019(平成31)年映画「嵐電」が上映された。ストーリーだけでなく、嵐電の車両や駅舎の風景も楽しめる内容となっている。

「常盤」以外の「鳴滝」と「御堂仁和寺」の駅間は「鳴滝」と「御堂仁和寺」の間は単線で走り、遅れが発生すると遅延することもある。現在は「御堂仁和寺」が複線駅となり遅延がなくなった。

**電車用信号** ★3  
西大路三条交差点、三条橋交差点に設置されている。

**安全地帯の馬尺** ★4  
西大路三条の四条大宮行、山内の西側、山内は道幅が狭い。

**電鐘式踏切** ★1  
西院付近に設置されている。昔ながらの電鐘、交通信号、電灯表示灯で構成されている。

**遠征所校舎のなみ踏切り** ★2  
嵐電天神川駅の東側に設置されている。第3種踏切り。

嵐電沿線で見られる設備  
上記路線図を参照